

やすらぎ短信

平成28年
8月号

八月 盆踊り



毎年お盆になると帰省ラッシュで渋滞する光景が各地で見られます。どんなに混んでいても、ご先祖様の供養や家族親戚のもとへ帰るのは、日本古来の良い風習です。お盆といえば、各地で盆踊りが行われます。この盆踊りというのは、お盆に迎え入れたご先祖様の御霊をお慰めし、再び送り返すための踊りです。ご先祖様への感謝や健康に生きていることへの喜びが踊りで表現されていると云われています。「和を以て貴しとなす」和になって地域の親睦を深めながら祈りを込めて踊る盆踊りをご先祖様も楽しみにしていることでしょう。

夏季みこし祭を斎行致します

八月二十七日、二十八日

本年は、光南、北町一区、北町三区の当番町内のご協力を賜り、夏季みこし祭を斎行致します。去る七月二十五日には、協力者全体の会議が開催されまして、来る八月十八日には最終の会議を行い、万端に準備を進めて参ります。二十七日には、宵宮祭と余興（カラオケ・民謡・コーラス・剣道・チアリーディング・玉入れ大会等）、翌二十八日は、本祭と神輿渡御を例年通り行います。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



昨年の本みこしの様子

宮司の一筆

「浦幌神社」創祀百二十年」

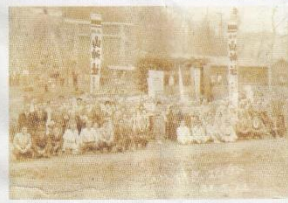
今年の八月十五日で浦幌神社ご創祀百二十年の節目を迎えます。浦幌神社は、明治二十七、八年頃、土田謙吉氏、坂東勘五郎氏等の農場経営により拓地開墾が進む中、移住者の土着心が進み、住民の心のより処とする神社の建立の声が高まり、明治二十九年八月十五日、伊勢の神宮より天照皇大神宮の神璽を受けて、坂東農場（現浦幌町総合スポーツセンター付近）に祠を建立、天照皇大神をお祀りしたのがはじまりです。百二十年間、どんな時も住民の心のより処として祈りが続けられてきた場所が「浦幌神社」であり、住民の心の絆を深めてきたのが「お祭り」であります。現在、お祭りでは担がれているお神輿は、昭和三十三年に購入したものです。それ以前にもお神輿はありましたが、今もなお世代を超えて担がれるお神輿に託された先人の想いを後世に繋いでいきたいと思えます。

浦幌町博物館で企画展

浦幌町博物館では、七月二十三日～十月二日まで「浦幌神社の百二十年」と題する企画展を開催して頂いております。資料の展示や夜学講座、町内神社めぐりなどを企画して頂いておりますので、ご案内申し上げます。



浦幌神社社殿 (浦幌神社所蔵)



炭山神社山神祭 (浦幌神社所蔵)
武運長久祈願 (浦幌神社所蔵)



例大祭での相撲 (浦幌神社所蔵)

企画展関連事業

- 7月23日(土) 神社・神社跡めぐり①(厚内)
- 8月11日(木・祝) 神社・神社跡めぐり②(上浦幌)
両日とも 13:30~16:00 定員8名 要申し込み
- 7月28日(木) 夜学講座 浦幌神社の120年展をみる
- 8月24日(水) 夜学講座 浦幌神社の120年
- 9月15日(木) 夜学講座 神主さんのしごと
各日とも 19:00~20:00 定員なし・申込み不要
- 8月11日(木・祝) ふるさと探訪 浦幌神社をあるく
10:00~11:30 定員なし・申込み不要
10:00に浦幌神社本殿前に直接集合

【申し込み・お問い合わせ】博物館 ☎ 015-576-2009
E-mail: museum@urahoro.jp

企画展

浦幌神社の120年

主催：浦幌町立博物館
協力：浦幌神社

2016年7月23日(土) ▶ 10月2日(日)

開館時間：10:00~18:00 / 場所：博物館1階特別展示ホール / 入場無料
博物館は月曜日・祝日の翌日が休館日ですが、本展は特別展示ホールにて開催のため、休館日にもご覧いただけます(ただし常設展示室は通常どおりの開館です)

浦幌町立博物館 〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(役場となり)
電話：015-576-2009 / FAX：015-576-2452 / E-mail: museum@urahoro.jp
http://www.urahoro-kyouiku.jp/education/

JR浦幌駅下車
徒歩7分
駐車場あり



展示の様子

祭具修理をご奉仕

先月、道東ラーチ企業組合様により、祭具の案(お供え物の机)の修理をご奉仕頂きました。心より感謝申し上げます。



修理頂いた祭具

浦幌神社行事予定

- 八月一日 月次祭
- 八月十五日 月次祭
- 八月二十七日 夏季みこし祭宵宮祭
- 八月二十八日 夏季みこし祭本祭
- 戦没者慰霊祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 ○一五・五七六・二四四八